



宮崎大学学術情報リポジトリ

University of Miyazaki Academic Repository

2010年1月宮崎県遺跡資料リポジトリ公開記念特別
展「宮崎大学(木花キャンパス)構内の遺跡」遺跡概要
ポスター

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-01-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮崎大学, 学術研究協力部情報図書課, 柳澤, 一男 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10458/2491

西暦	紀元前 (B.C.)										紀元後 (A.D.)				
	38000 頃	27000 頃	13000 頃	9000 頃	5000 頃	3500 頃	2500 頃	1200 頃	800 頃	400 頃	0	250 頃	370 頃	500 頃	
時代区分	後期旧石器		縄文					弥生			古墳				
	前半	後半	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	
気候	氷河期最氷期		温暖化			寒冷化									
主な遺跡	洞窟壁画 ラスコー・ アルタミラ		鹿児島上野原		四大文明発祥		殷王朝 ミケーネ 文明		佐賀・吉野ヶ里						
堂地西遺跡	木花キャンパス内の4ヶ所の遺跡は、旧石器以降、間断的に人々の生活する空間として利用された。		■		■		■		■		■				
平畑遺跡							■								
堂地東遺跡	棒線が、生活域として利用された時期。				■				■						
熊野原遺跡C地区	赤棒線が展示時期に該当				■						■				

2万年前から、木花キャンパス周辺に人々が暮らしていました

(1982~1984 発掘調査)

【堂地西 (どうちにし) 遺跡】

(地域連携センター~教育学部)
宮崎を代表する旧石器時代から縄文時代はじめの遺跡

主な遺物
集石遺構 (熱で焼けた礫群。調理施設?)
旧石器時代の石器
・尖頭器 (やり=狩猟具)
・ナイフ形石器 (刺突・切削用具)
・搔器 (スクレイパー=なめし用具)

・大型の動物を狩る生活
・焼けた石で調理
・衣類はなめした毛皮

堂地西遺跡

・農耕や戦いが行われている
・間仕切りのある南九州独特の住居

堂地東遺跡

弥生時代後期の花卉状住居群
主な遺物
花卉状住居 (間仕切りのある竪穴住居)
仕切り壁のない方形の竪穴住居
弥生土器、軽石製品、鉄製品、石斧

平畑遺跡

縄文時代 (後期~晩期) の大集落
主な遺物
竪穴式住居跡 (円形+楕円形)
縄文土器 (煮炊き用+貯蔵用)
魚網錘 (網を沈めるおもり=漁具)。
磨製石器
・石皿・磨石 (木の実を摺る調理器具)
・石斧 (鋏=土掘具)
・石匙 (スクレイパー=なめし用具)
玉類
岩偶や石刀、丹塗りの縄文土器 (祭祀用)

・狩猟採集をメインに、漁労や原始的な農耕も行う。
・竪穴式住居の中の炉で調理。
・衣類は、木の繊維で作った編物やなめした毛皮
・祭祀を行う

【熊野原 (くまのぼる) 遺跡】

(グラウンド~木花商業地)
弥生時代の終わりから古墳時代はじめの集落遺跡

主な遺物
周溝状遺構 (方形、祭祀用?)
竪穴住居 (仕切り壁なし、方形)
石包丁 (稲穂を摘むもの)

・農耕を行う。
・祭祀を行っている。
・有力者は古墳に埋葬される。(近くに木花古墳群がある)